広報 ひがしくるめ
平成16年（2004年）6／1号 No.891
発行／東久留米市 編集／企画経営室広報課 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1 ☎0424・70・7777（代） ホームページ http://www.city.higashikurume.lg.jp 毎月1日・15日発行

わたしたちが創（つく）る わたしたちの未来 第8回 環境展

6月5日（土）・6日（日）午前10時～午後4時　市民プラザほか

6月5日は環境の日です。1972年にストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められました。また、6月を「環境月間」として全国の市区町村で、さまざまな環境行事が行われます。

市でも、「わたしたちが創（つく）るわたしたちの未来」をテーマに、市内の環境団体の協力の下、環境展を開催します。豊かな自然を将来まで残していくことが、わたしたちみんなの願いです。皆さんのご来場をお待ちしています。

詳しくは環境緑政課環境保全係☎70・7753へ。

（昨年の環境展の展示風景から）

展示内容

環境ポスターコンクール入選作品を展示

昨年の夏休みに募集した「第22回環境ポスターコンクール」の優秀作品10点を展示します。市内小・中学生の感性あふれるポスターをご覧ください。

東久留米市環境マップ

平成15年度東久留米市環境保全推進委員会

委員10名が市内全域を分担して、徒歩によって調査し、具体的な地域の環境に関する事象を「東久留米市環境マップ」として地図上に記載したものです。

「ホトケドジョウ」って知ってる？

東久留米ほとけどじょうを守る会

①ホトケドジョウについての疑問になんでも答えます

②14周年を迎えたわたしたちの会の歴史や活動内容を紹介します

③「市内で好きな場所」「市内の川についての感想」など簡単なアンケートを行い、ラミネート加工した花や葉のしおりをプレゼントします

「素敵なみどりと水辺環境」を明日の子へ

東久留米・ホタルを呼びもどす会

市内に残る緑と水辺を写真（約300枚）に記録し、神社やお寺の石仏等の市文化財も併せて地図上に表示しますので保全された環境を訪れる機会にしてください。

また、川に生息するコイ・アユなど10種類以上の魚の実物展示もします。

雨水の貯留・浸透利用を進めよう

東久留米の水と景観を守る会

屋根に降った雨水を貯留し、地下に浸透させたり、生活に利用したりすることは、河川・下水道への流出量を減らす治水効果と地下水涵養（かんよう）・湧（ゆう）水復活・ヒートアイランド現象緩和など、環境保全効果があります。各家庭でできるいろいろな方法を、具体的にパネル・模型・実物により紹介します。

今から30年ほど前は、公害問題や自然破壊が全国的な規模で問題になっていました。現在はごみのリサイクルのような身近な問題から、温暖化のような地球規模のものまでさまざまな環境問題が発生しています。

湧水周辺は緑も豊富で、憩いの場として多くの人たちが自然を満喫するために訪れます（南沢緑地内沢頭流から）

EM（有用微生物群）の力で魚の住める水になる

多摩の自然環境を守る会

わたしたちの住むまちの川は、以前に比べ、水量が減り、汚れてきました。

そこで少しずつでも水が浄化されるよう、これまで米のとぎ汁を利用してEM（有用微生物群）の発酵液を川に放流してヘドロの分解や悪臭を除去しています。子供たちに自然を残すために活動していることを発表します。

身近な自然に親しもう

東久留米自然ふれあいボランティア

①市内の緑地保全地域

②保全の目的

③ボランティア活動の紹介

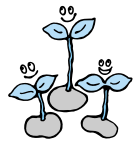
この3つをメインに、市の自然の大切さや緑地の管理を通して学んできたことを展示します。

東久留米市に新しい名所がまたひとつ

南沢水辺公園のなかまたち

南沢の沢頭湧水と落合川が出合う所に、今、新たな市の名所が生まれようとしています。それが「南沢水辺公園（仮称）」です。

「自然を活かした公園」「市民みんなが創り続ける公園」を方針として、今年度中には形ができます。



さあ、みんなで公園づくりに参加しましょう。

21世紀の環境を考える

つつじ会

私たちの運動は各家庭で身近に取り組める家庭教育運動です。

そこで循環型社会を構築するためのゴミの排出抑制を行う必要があります。EM菌による生ゴミ発酵肥料を作り、土に戻して新鮮な野菜や草花を育てていく。未来の子供たちに美しい地球を残しましょう。

その他の参加団体

▽黒目川流域川づくり懇談会▽東京ガス株式会社西部支店▽市内の小・中学校

イベント情報

東久留米市の環境・子どもサミット

昨年好評だった環境・子どもサミットを今年も引き続き開催します。市内在学の皆さんに、普段、学校で学んだり、調べたりしていることについて発表してもらいます。

【日時】6月5日（土）午後1時半から

【会場】市民プラザホール

講演会

雨水を楽しむまちづくり～生態や気候調査のことも考えて～

【日時】6月6日（日）午後1時半

【会場】市民プラザホール

【講師】東京理科大学教授の鈴木信宏氏

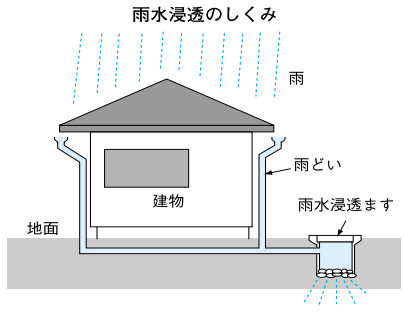
身近な川の一斉調査

新河岸川に流れ込む川の200カ所以上のポイントで、誰にでもできる簡単なパックテストを使って川の水質を調べます。環境保護グループの「東久留米・ホタルを呼びもどす会」「東久留米ほとけどじょうを守る会」の会員の指導によって市内の河川30カ所を測定地として行います。

【日時】6月6日（日）午前10時、市役所1階屋内ひろば集合（小雨実施）

宅地内の雨水を地下へ浸透させましょう

雨水を地下に浸透させることは、河川への流出を減らす治水効果と、地下水の涵養などの環境保全に効果が期待されます。雨水浸透施設には、屋根に降った雨水を地下へ戻すための「雨水浸透ます」による方法が一般的です。また、集合住宅等の大きな建物については、「雨水浸透ます」や「浸透トレンチ管」などがあります。雨水を自然へ戻すため、雨水浸透施設の設置にご協力ください。



雨水浸透ます助成制度のご利用を

市では、雨水浸透ますを設置する方への助成を行っています。ご希望の方は、市指定下水道工事店または環境緑政課へご相談ください。

【助成対象者】敷地が1000平方メートル未満の既存の個人住宅（新築、増築等を除く一般住宅）を所有する方

【助成額】設置状況により、経費の全部または一部

【申請の手順】

①市指定下水道工事店または市へ連絡する

②現地調査（地下水位の高い所やスペース不足等で設置できない場所もあります）

③ますの数量を決定

④市指定下水道工事店が工事の申請をする

詳しくは環境緑政課水と緑係☎70・7753へ。